



広域広報

# おきたま

No.1

平成2年(1990年)

8/15

置賜3市5町の花です



## 置賜広域行政事務組合

理事長 高橋幸翁  
米沢市長



このたび、広域広報「おきたま」を  
発刊することになり、ひとことごあい  
さつ申し上げます。

置賜には、米沢市・長井市・南陽市の三つの市と高  
畠町・川西町・白鷹町・飯豊町・小国町の五つの町が  
あります。置賜広域行政事務組合は、その三市五町で  
組織され、現在、広域市町村圏計画の策定、し尿・ご  
み処理施設やへい獣処理施設、南陽養護老人ホームの

設置運営を行っております。

このたび、自治省から置賜地域がふるさと創生の一  
環である「ふるさと市町村圏」に選定されました。

また、選定に伴い構成する各市町と県とがお金を出  
しあい十億円の基金を設置し、その利子で「花」と「人  
材育成」に係る事業を行います。

そのひとつとして、置賜の全戸を対象に広域広報を  
発刊いたすことになりました。

どうかこの広報をお読みいただき、広域行政に対す  
るご理解と、各種事業に対しまして圏域の方々のご協  
力をよろしくお願い申し上げます。



# みんなで創ろう

## ふるさと置賜

置賜圏域は、昨年8月、自治省から「ふるさと市町村圏」の地域選定を受けました。

### 「ふるさと市町村圏計画」を策定

置賜地方が持つ豊かな自然と環境を生かし、ゆとりとやすらぎのある美しい地域づくりを進めるため、置賜三市五町と置賜広域行政事務組合は、共同で、「置賜広域ふるさと市町村圏計画」を策定しました。

この計画は、西暦二千年を目標年度として策定され、道路網の整備をはじめ、生活基盤の充実、余暇時間の増大に対応した環境施設整備、さらには花と緑のネットワークの形成など、二十一世紀に向けた総合的なものとな



オープンした川西ダリヤ園 8/1～10/30

## 置賜広域ふるさと市町村圏広域活動計画

事業名	事業内容	実施する年度												
		発芽期			開花期			結実期						
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
置賜花の北斗七星事業	花の回廊整備事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各市町主要道路の沿道や観光施設・主要堤防などに花木を植栽して置賜のイメージアップを図る。
	花の情報発信基地づくり事業	花と地域づくりデータベース構築事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全国各地に住んでいる置賜出身者を把握してコンピュータに入れる
		置賜花だより事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	花のパンフレットやポスター・広域広報を作成する。
	置賜花づくり事業	花づくり講習会事業	○	○	○									美しくあまり手がかからず長くもつ花の栽培方法等の調査や花栽培の講習会を開催する。
		フラワーハウス整備事業						○	○	○	○	○	○	ごみ処理施設からの廃熱を利用して花を栽培する施設を設置する
		花活用特産品開発事業					○	○	○	○	○	○	○	花を活用した特産品の開発研究などを行う
	地域や産業を支える人材育成事業		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地域づくりや各産業を担う人材を育成するため国内や海外研修を実施する
	置賜サイン計画事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	圏域内の主要施設や花の公園等を示す観光案内板を設置する
	フラワー都市圏交流事業					○	○	○	○	○	○	○	○	花を活用した地域づくりを实践している他の圏域と交流活動を行う
	置賜フラワーフェスティバル事業								○					花をテーマとしたイベントを開催する

○印は実施年度



## ふるさと市町村圏とは

地域の自立的発展が見込まれる地方都市及びその周辺地域を一体とした圏域について、モデルとして「ふるさと市町村圏」の選定を行い、ふるさと市町村圏基金を設置する等、その総合的重点的な整備を推進するため平成元年6月に、自治省が「平成元年度ふるさと市町村圏推進要綱」として発表したもので、平成元年度から2ヶ年で、広域市町村圏のうちおおむね50圏域をモデルとして選定することとなっています。

この選定を受けると県と構成する市町村でおおむね十億円の「ふるさと市町村圏基金」を設置し、その利子でふるさとづくりの事業を実施することになります。これまで、全国から57の圏域がこの地域選定を受けました。山形県内では置賜のほかにも最上がこの中に入っています。



小国夢おこし塾国内研修

## メインテーマは「花」と「人材育成」

置賜には花の公園がたくさんありますが、これらを結ぶ置賜全域の観光ルートの整備や、置賜を花の里とする花の回廊整備などを行い、さらに美しい地域づくりをめざす必要があります。また、置賜地方は、これまで伝統的に人材の育成を重視する気風がありますが、今後も地域のリーダーや先端技術者などの養成を積極的に推進する必要があります。

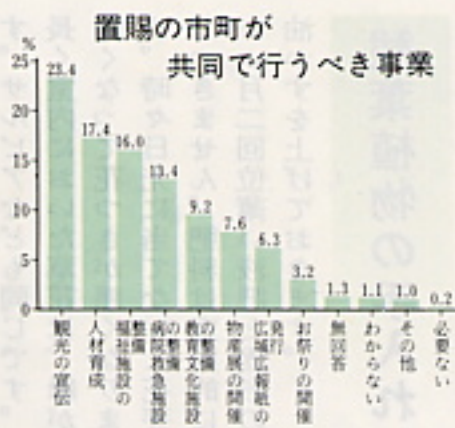
このようなことから、広域活動計画（十億円の基金の利子で毎年行うふるさとづくり事業の計画）では、「花」と「人材育成」

をメインテーマに、「置賜花の北斗七星事業」として七つの事業を実施します。（P二下図参照）これらの事業は、平成二年から十二年までの間を、発芽期・開花期・結実期に区分し、それぞれの目的達成に向けて各種の事業を展開することになります。

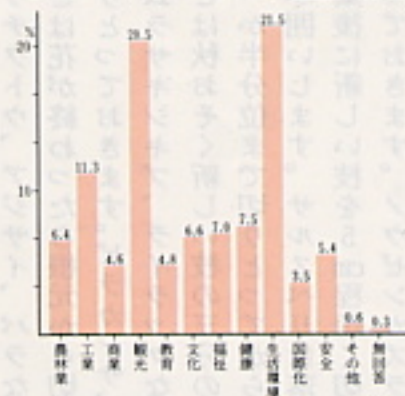
## アンケート調査の結果まとめ

「置賜広域ふるさと市町村圏計画」に住民の声を反映させるため、昨年十月、圏域内の住民二千人を対象に、アンケート調査を行いました。

このうち、「共同で行うべき事業は何ですか」という問いに対して、第一位が「観光の宣伝」、第二位が「人材の育成」、また、



## まちづくりのための重点項目



市や町の一部の事務を共同処理しています。

置賜広域行政事務組合は、構成する市や町の事務の一部を共同して行うため昭和四十六年に設立されました。

現在行っている事務は、広域計画の策定やごみ・し尿やへい獣（家畜の死がい）処理施設の運営、コンピュータを利用した市や町の事務処理、そして老人ホーム（南陽やすらぎ荘）の運営です。

組合は、特別地方公共団体で、米沢市長が組合の理事長に、他の市や町の市長・町長が理事になっています。

事務局は米沢市にあり、し尿やごみを処理する事業所は米沢市・長井市など六事業所、へい獣を処理する施設は川西町に一つ、老人ホームは南陽市に一つそれぞれ設置されています。



長井  
清掃事業所

南陽やすらぎ荘



# 夏から秋にかけての

## 草花管理

### 花鉢物の手入れ

初夏の頃から鉢やフラワーポットに植えて楽しんできたいいろいろな草花も、今の時期になると疲れが出て見すほらしくなってきました。しかし手入れ次第で秋遅くまで立派な花を咲かせてくれます。

花をつける草花類は、咲き終わった花がらを小まめに取ってやること、花ベゴニア、日日草、



ベゴニア

インパチエンスなどの四季咲きのものは、長く伸び過ぎた枝は途中から切り取ってやること、き枝が出て、それに花をつけま

す。サルビアなども同じです。長く室内においた草花は、緑が薄くなって花つきが悪くなりま

### 観葉植物の手入れ

観葉植物は夏の鉢物として人気があり、多くの家庭で楽しむようになりました。

この植物は、半日陰を好むものが多く、室内で楽しむことが普通ですが、これも長い間全く光に当てないと、徒長したり緑色が薄くなってきます。このようになった植物は、これから寒さに向かって冬越しをする場合、寒さに弱くなって枯れる心配があります。今のうちから体を丈夫にしておく必要があります。それには徐々に弱い光に当て、秋の光では一日中外に出しても平気な体をつくりま

### 花木類の管理

真夏に咲くサルズベリ、キョ

### シクラメンの植え替え

昨年買ったシクラメンを今年も咲かせるにはどうすればよいかという事をよく聞かれます。

シクラメンの鉢替えは二通りありますが、その一つが秋植えです。夏の間、植木の間や軒下に放置されているシクラメンの株は球根だけが生きています。八月から九月にかけてこれを植え替えます。まず、株を鉢から抜きとり、約三分の二の土を静かにおとします。鉢は同じものか少し大きいものを使います。用土は細い赤玉土に腐葉土を三分の一ほど混合し、それに固形油かすを10g位まぜます。これをつかって鉢の半分位まで土を入れ、株を入れてまわりに土を加えておちつかせます。水をたっぷりやり、そのまま外で鉢物と同じように管理します。寒くなるまで丈夫に育て、十月になったら室内で管理します。



アジサイ

（山形県立赤湯園芸高等学校 鈴木常蔵先生）

山々に囲まれた置賜盆地を全体で表現し、広域行政の「広」と「行」をアレンジしたものです。

置賜広域行政事務組合  
政務組合



## 『花達』



ヒメサユリ

私の名前はヒメサユリ。テツポウエリ系のエリで高山性なんです。かわい花を咲かせることで評判がいいんですよ。でも、最近、仲間たちが少なくなってきた感じがします。皆さん、私たちを見つけたらそのままやさしく見守っていて下さい。そうすればこれからたくさんの人に会えるし、また、私達の仲間を多くすることが出来ます。よろしくお願いしますね。